第６章　新図書館構想のあらまし

図書館の抱える課題

- 施設の狭隘化
- 施設の老朽化

市民の要望への対応

・資料の充実
・どこでも利用できる図書館
・だれでも利用できる図書館（日本語を母語しない人たち、身体的・学習上の不自由さをもつ人たちなど多様性を前提としたサービス）
・人と出会いの場所
・居場所としての図書館
・図書館サービスに精通した職員の確保　など

実現

解消

図書館サービスへの影響

㋐収納能力の限界
㋑閲覧。学習スペース不足
㋒レファレンススペース不足
㋓おはなし会・グループ活動などの場所
㋔バックヤードの確保

新図書館構想

新しい図書館のコンセプト

①市民にとって最も望ましい空間（サードプレイス）を提供する図書館

②多様な世代、多様な目的を持つ市民が快適に利用できる図書館

③人と人をつなぐ図書館

④西東京市の将来にわたる財産として、魅力ある街づくりに貢献する図書館

新しい図書館に求められる機能

①市民の共有財産である図書館資料の保存機能
②図書館の基本サービスの充実と多様なサービス拠点
③児童（乳幼児を含む）サービスの充実
④滞在型図書館の実現
⑤学習スペース
⑥読書振興や地域振興（にぎわいの創出）のためのスペース
⑦電子化・情報化の推進
⑧行政・議会支援と情報公開
⑨バックヤードのスペース確保

「市民とともに学び、考え、成長する図書館」の実現

西東京市のまちづくりに貢献する図書館